

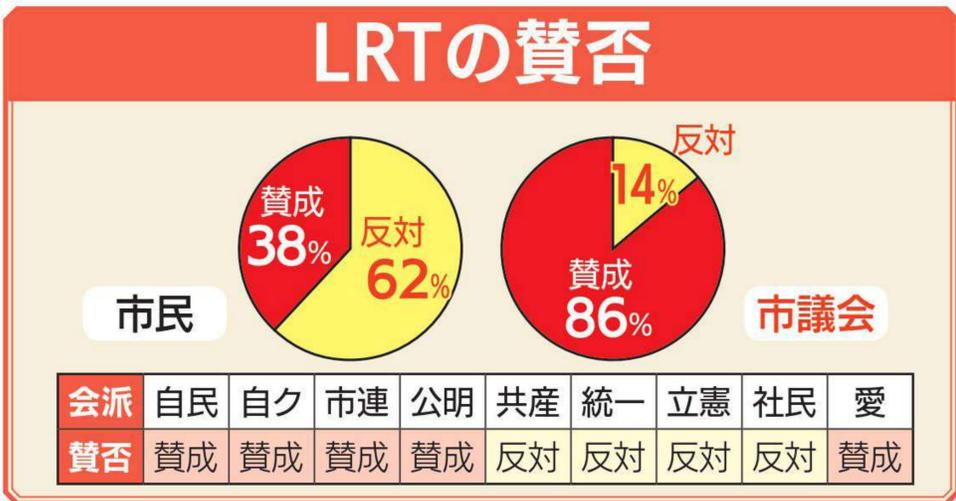


# いであい昌子

うつのみや歴史つながる未来通信 第3号

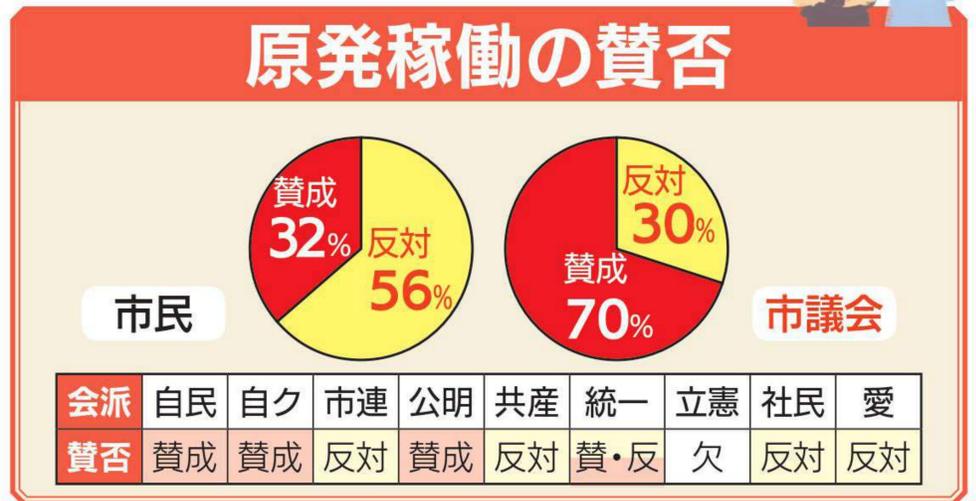
## 市民の声が届く宇都宮市議会へ

### ●市議会は民意を反映していない!



\*市民の賛否は2016年市長選のNHKの出口調査

\*議会の賛否は「宇都宮市のLRT施設工事中止を求める陳情」(2018年6月議会)



\*市民の賛否は「原発再稼働」についての朝日新聞全国世論調査(2019年2月)。福島県では反対68%、賛成13%

\*議会の賛否は「東海第二原発の稼働延長を認めない意見書の陳情」(2018年12月議会)

### ●市民と対話する議会へ 3つの提案



#### 1 もっと! 市民と対話する議会へ 議会報告会の開催

栃木県の14市のうち8市の市議会では、市民が参加し議員と対話する議会報告会を開催していますが、残念なことに宇都宮市議会には開催していません。市議会が制定した議会基本条例には「議員は、議会活動について、市民に対し、説明に努める」と記載されています。ぜひ、実現したいと思います。

#### 2 しっかり! 民意を確かめる議会へ 住民投票条例の制定を

2014年に市民の3万人以上がLRTの賛否についての住民投票を行うことを市議会に要求しました。ところが市議会はこれを否決し、市民の民意を確かめようとはしませんでした。住民投票条例を制定している自治体は全国にたくさんあります。ぜひ、宇都宮市議会でも制定させましょう。

#### 3 びっくり! 議員報酬の削減へ 議員報酬審議会の開催と市民公募を

給与所得者の平均年収は、20年間で467万円から420万円に、約1割も減少。他方で、宇都宮市議会議員の年収は、議員報酬審議会が20年間も開催されないの1161万円のままです。議員の雇い主は市民です。審議会委員に「市民公募」を行う自治体も増えています。ぜひ、実現しましょう。

### もっと! 地方議会に女性議員を



女性国会議員は **10.1%** 192カ国中160位  
地方議会も2016年で12.9% (宇都宮市議会は13.3%)



# いよいよ昌子さんを応援しています!

Love & Peace  
愛 平和

## 歴史と文化に誇りを持てる宇都宮に



過去の人々が残した諸々の生活の痕跡、自然環境の変遷を研究することにより、現在の自分たちは先人の途方もなく長い苦節の結果により生かされていることに気がつきます。そして、その上に立って現代社会の諸情勢を分析して、より深い人間性に溢れた日常にむけて努力を続けることができます。いよいよ昌子さんは「姿川歴史と文化の会」の会長として、姿川地域の歴史や自然、文化の研究を通してそのようなことを先頭に立って活動し続けてきました。真の文化活動を通して、地域に誇りをもつ心豊かな人々の住む宇都宮にしていこうという意気に共感します。

竹澤 謙 (元栃木県考古学会副会長、元宇都宮女子高校教諭)

## 「交通弱者」の視点が公共交通の基本

公共交通政策の基本は、高齢者や障害者、病人や妊産婦・幼児等が安価で利用の便利を基本におくべきで、その基本が、市民全体の交通の利便に寄与するものと思っています。特に、宇都宮市は丘陵地を開発した住宅団地が多く、現にそこに住む高齢者等は、現状でも、終日引きこもりを余儀なくされている方が多く、それらの人々の利便に視点を置く交通政策こそ地方公共団体の責務です。いよいよ私も私と同様の考えをお持ちです。決して一人よがりにならず、謙虚な気持ちで他から学び、成長してもらいたい。

米田軍平 (弁護士、元栃木県弁護士会会長)

## 政治に挑む根底に志がある人



国であれ地方であれ、政を成すには、そのための行動指針が必要です。温暖化をはじめ、地球に起こっている多様な環境問題の対策を進めること。限られた資源の無駄使いを止め、真のもつたいない運動を進めること。貧困、格差をなくし、戦争をやめ、足るを知り精神的に豊かで自殺者のいない社会を目指すこと。地方の政治といえども根底に志がなければ正しい判断はできません。この困難な目的を胸に、政に挑もうとしているいよいよさんを、同じ思いを持つものとして応援します。

池本秀紀 (岩曾町/じてんしゃの杜代表)

## この人となら宇都宮の未来を創っていける



いよいよ昌子さんとは幼なじみで、小学生の頃から自ら教室の清掃を引き受けるなど、人が嫌がることでも進んで行う人でした。また、結婚後子育ての際には、布おむつを使っていたのを覚えていて、大変だったでしょうが、その分子もとの触れ合う時間を大切にでき、また環境への配慮も欠かさなかつたいよいよ昌子さんらしいやり方です。その後も、環境の分野ではより活動の幅を広げています。「この人となら宇都宮の未来を創っていける」と思い応援します。

山本佐弓 (海道町/通訳)

## あきらめない政治に期待



毎朝の新聞に目を通すと、水道民営化、カジノ法案、辺野古土砂搬入、防衛費拡大、そしてオリンピック、大阪万博と一部の人間だけが潤う箱物政治。読み進める事が嫌になるほど絶望してしまいます。

そんななか、いよいよ昌子さんはLRT反対運動をコツコツとやっていました。あきらめかけていた政治に、ひとすじの光をみた思いです。小さき声を拾ってくださる、粘り強く行動して下さる素晴らしい女性です。宇都宮の市民の為の政治をして下さると思います。心より応援させていただきます。

佐藤美千代 (戸祭台)

## 高齢者と子育て世代が暮らしやすいまちへ



いよいよさんは、まちづくり協議会の活動を通して、高齢者と子育て世代の暮らしやすい宇都宮のまちづくりに力を注いでいます。少子高齢化に向かっている日本では、宇都宮市も例外ではありません。高齢者が生きがいを持ってゆとりのある人生を楽しむ社会、そして子供3人以上を育て生活を楽しむ社会をめざしてがんばってください。いよいよさんが市政に参加することは、きっと町会のためになるものと期待しております。

今村和夫 (鶴田町南部自治会長)

## 社会奉仕に積極的な心の優しい人



いよいよ昌子さんの「憲法9条を守る」「脱原発を目指す」に強く賛同します。この二つに日本の将来が脅かされてはなりません。教会での礼拝が終わると、目の不自由な人やお年寄りをワゴン車で最寄り駅や自宅まで送るなど、とても心の優しい人です。そして、お子さんたちの学校でPTAの役員をされるなど、社会奉仕に積極的であり経験が豊富な人です。市民の要望を的確に汲み取り、関係機関に交渉し、実現してゆく能力と行動力、いよいよ昌子さんはその双方を備えています。

新井 秀 (大和町/牧師)

## まちづくりに欠かせない人

我々、有権者(市民)は、常日頃、行政に対し、希望と安心を求めて生活しています。「自分の足で歩き」「自分の耳で聞き」「自分の口で応えて」が、まちづくりに欠かせません。この3つをそろえた、いよいよ昌子さんを応援します。

高島巨夫 (菊水町)

## 幸せな暮らしは地方自治の充実から

いよいよさんの温和な人柄、人の話に真摯に耳を傾ける謙虚な姿勢にはとても好感が持てます。その冷静な判断力、決断力は、リーダーとしての資質十分です。宇宙をも含めた大きな視野に立つ人です。宇宙船地球号の一員であり、この惑星で古い歴史と文化を継承する宇都宮という街に住む私たち。幸せな暮らしは地方自治の充実からしか生まれません。安全な食べ物、いのちを尊ぶ環境・教育、超高齢化社会の到来に向けての社会福祉の充実……新しい時代の夜明けに、いよいよ昌子さんを応援します。

石川史江 (翻訳者)

## 民意をくみ上げない市議会は怠慢



現在の宇都宮市議会をみていると、果たして宇都宮市民の民意を汲んでいるのかはなはだ疑問に思います。その最大なる例は、LRTに対する市議会の取り組み方です。これだけ、大きな案件を市民の意見も聞かず強引に進めた事は、まさに今の市議会議員の怠慢です。昨今、良識ある市町村では、このような大きな事案に対し住民投票を行い民意を確認しています。民意を汲み上げる力と物申す力は、誰よりも優れているいよいよ昌子さんに活躍してもらいましょう。

袖洞敏則 (緑町/yu-lan マスター/いよいよ昌子と宇都宮の未来を創る会会長)

## 私たちが応援しています

宇都宮健児 (弁護士、元日本弁護士連合会会長)  
真田富美子 (元栃木県議会議員)  
吉澤定雄 (鶴田町中部自治会長)  
横田満朗 (元四條町教会牧師、元清愛幼稚園理事長・園長)  
袖洞康子 (自営業) 大木一俊 (弁護士)  
藤 秀彦 (四條町教会牧師、清愛幼稚園理事長・園長)  
加藤誠子 (鶴田町)

## 市政を変革する熱意と勇氣に期待する



宇都宮市の市政を変革する熱意に燃え、勇氣をもって立ち上がる“いよいよ昌子さん”に大きな期待を抱くひとりです。彼女が何事にも真剣に取り組む姿には、厳しさと温かな人間味を感じます。活動を共にしている宇都宮市のLRT問題連絡会では、市民の本当の声を行政に伝えるため、街頭に立って賛否を問うシール投票を続けるなど、幅広くエネルギーに活躍しています。市民のために骨身を惜しまず働いてくれる信頼できる人として、心から応援いたします。

長竹一雄 (緑町/LRT問題連絡会役員)

## 70%近くがLRT反対を確認



いよいよ昌子さんは、LRT問題連絡会の仲間と、いっしょに、市民の意識調査のためにLRTについてのシール投票を定期的に実施して、70%近くの市民がLRTに反対であることを確認しました。また、よりよい地域交通を話し合うための地域の集まりを企画するなど、市民と共に地域をよくする活動を行っています。行動力があり、自分の信じる道をまっすぐ進むいよいよ昌子さんは、宇都宮市のまちづくりに大きな力を発揮していただけるものと確信しております。

須藤 博 (弁護士)

## すべての人が幸せに生きる美しいふるさとを子どもたちに

宇都宮に生まれ育ち、結婚して子どもを育てる中で、地域のまちづくりや身近な課題に精一杯取り組んで来ました。教育の問題、食品・地球環境・平和の問題、親の介護を通して見えてきた問題などなど。今までの経験を活かし、そしてこれからの人生をかけて、大好きな宇都宮をもっともっと良い街に、宇都宮のすべての人が共に楽しく、安心して幸せに暮らせる社会を創りたいと思います。

今を生きるわたしたちと子どもたちの未来のために、そして美しく自然豊かな地域と地球のために、利権やしがらみのないクリーンな宇都宮市をめざし、みなさまと共に政策を実現していきます!

いよいよ昌子  
まさこ

## プロフィール

1963宇都宮市生まれ/清愛幼稚園、西原小、一条中、宇都宮女子高、東洋英和女学院短大卒業、同専攻科修了/1985-89足利銀行勤務/姿川第二小、宇都宮高PTA役員/姿川第二小地域協議会委員/宇都宮市自転車のまち推進策定懇談会委員/姿川第二学童、宮の原中、宇都宮高野球部保護者会

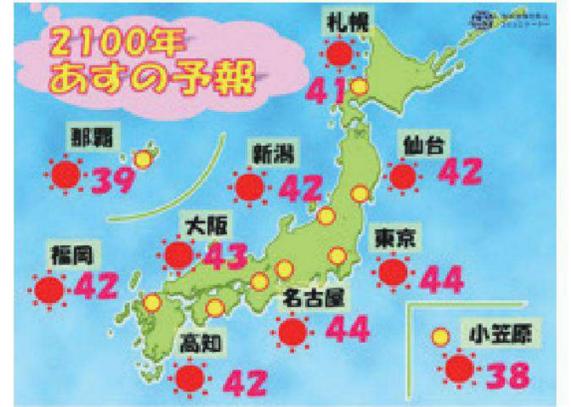
所属と活動 姿川歴史と文化の会会長/姿川地区まちづくり協議会副会長/宇都宮女子高操会理事/宇都宮保護司会会員/宇都宮更生保護女性会会員/九条の会・栃木会員/環境首都宇都宮を創る緑の会共同代表/宇都宮市のLRT問題連絡会副代表/宇都宮市文化財調査員/一条中学校同窓会役員/地球村特別会員



## ① 将来世代に豊かな自然環境を残す ストップ! 地球温暖化

地球温暖化対策を放置すれば、2100年には東京が44度、札幌が41度にもなり、気候変動による災害で年17兆円以上もの被害額になると環境省は予測しています。海面が約60cm上昇し、日本の砂浜の85%が喪失。熱中症の死者数と救急搬送者数は倍増、穀物の減産や質の低下、温州ミカンが策付けが不可能に。地球温暖化をストップし、子どもたちに豊かな自然環境を残したい、それが私の願いです。

- 再生可能エネルギー(小水力や太陽光など)の積極的普及と活用を
- まず市庁舎を自然エネルギー100%へ

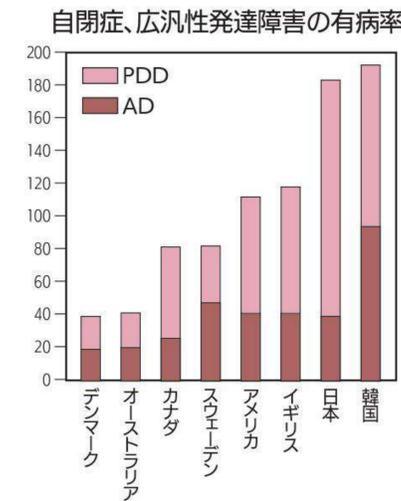


2100年の最高気温の予測の日本地図(環境省)

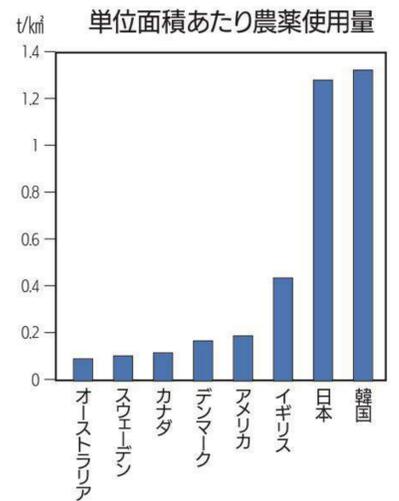
## ② 子どもたちの健康を守る未来へ 毒性農薬の使用はキツパリ規制を

ミツバチ大量死の原因であると指摘されるネオニコチノイド系農薬は、EU諸国では使用が禁止されている国が多いにも関わらず、日本では今もホームセンターなどで販売されています。近年世界的に増大している発達障害の原因ではないかと危惧されています。図のような農薬使用と発達障害の相関関係は不安です。日本でも2006～2015年の間に、自閉症が3.6倍、学習障害が9.8倍、多動性障害が9倍に増えています。子どもたちの健康を守ることに、それが私の願いです。

- 公園などに毒性農薬を使わせないようにチェック
- 販売されている農薬への情報提供と規制の促進



出典:「黒田洋一郎、木村一黒田純子「発達障害の原因と発症メカニズムー脳神経科学から見た予防、治療・療育の可能性」2014年 河出書房新社」

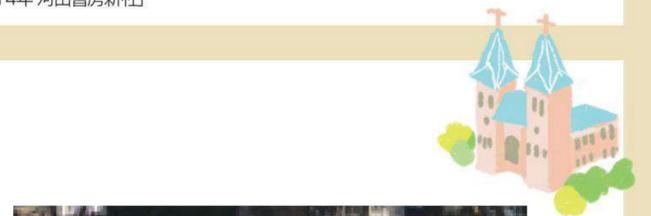


出典:OECDの2008年調査より

## ③ 文化と歴史が息づくまちづくり 市立博物館などの文化施設の建設を

宇都宮高校で英語を教えていた版画家・川上澄生が鶴田の地に住み、多くの作品を制作したことはあまり知られていません。棟方志功が版画家になるきっかけの傑作「初夏の風」も鶴田で生まれました。宇都宮市には、他にもゆかりのある素晴らしい芸術家たち、誇れる文化がたくさんあります。それらの貴重な遺産をいつでも身近に触れることができることはとても大事なことです。そして次世代につなげていかなければなりません。

- 街の中心、一条中学校の跡地に心のシンボルとなる文化施設を
- 街全体を文化の薫る美しい景観へ



川上澄生の碑

